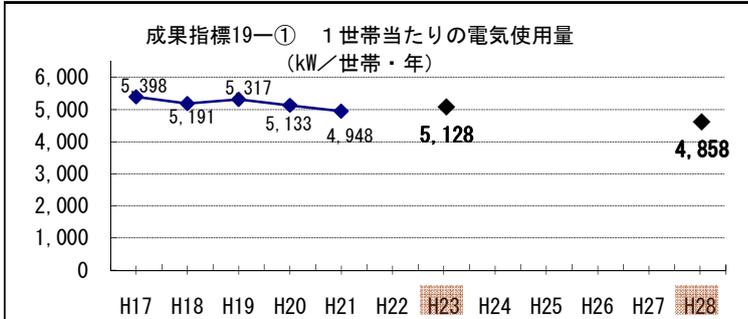
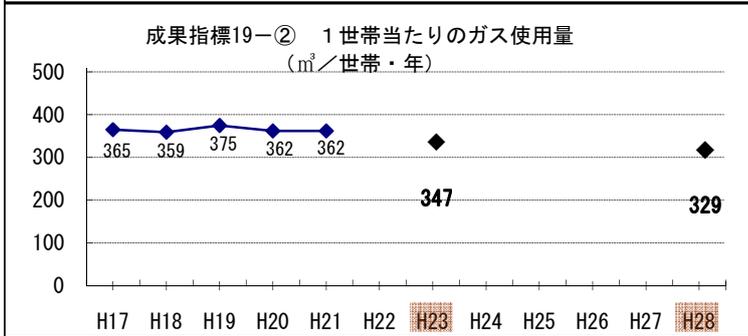


柱	4 共通基盤
分野	K 地球
ビジョン	自分達の手でライフスタイルを見直し、 きれいな地球を守る



主な事業

太陽光発電システム設置補助

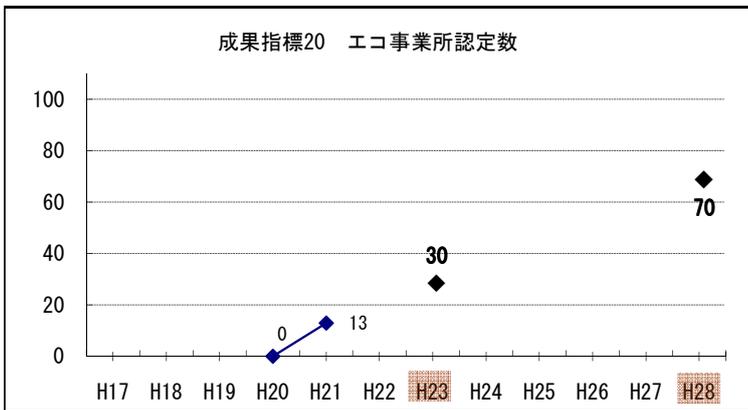


計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

電気使用量は23年度の目標値を達成した。これは、景気悪化によるものが大きく、東海市に限らず名古屋圏全体同様な状況下にある。ガス使用量はほぼ横ばいである。契約世帯数は前年に比べてほぼ横ばいであることから、1世帯あたりの使用量が変わらないのが現状である。



主な事業

ペットボトル店頭回収

計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

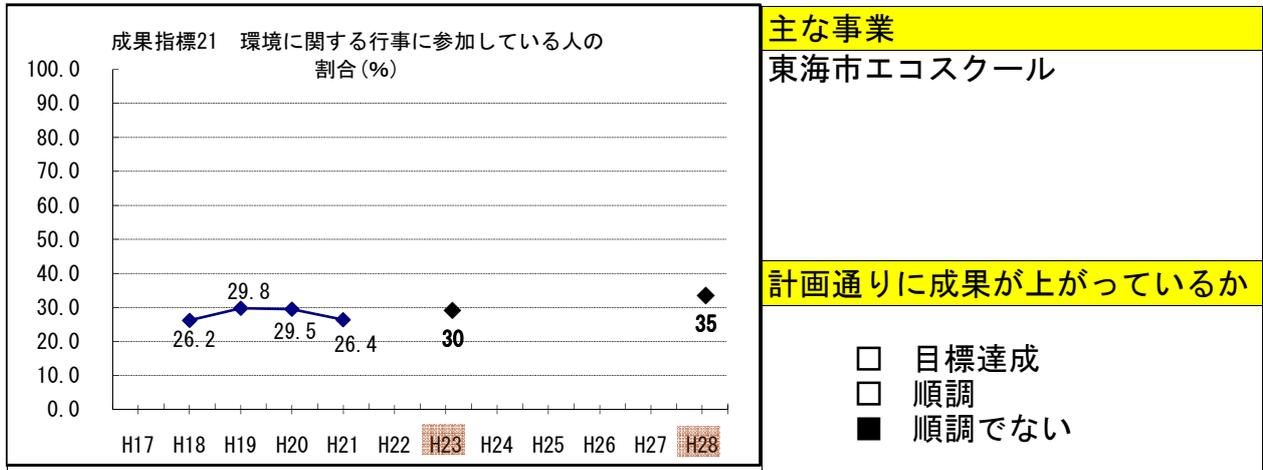
エコ事業所は、現時点ではペットボトル店頭回収協力店舗(事業所)としたが、13店舗(事業所)であり、成果指標に対しては順調ではない。(この指標では、他の事項でエコ事業所を捕捉することが困難となっている。)

成果が向上する余地(可能性)は? 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

家庭でのエネルギー消費はライフスタイルや気温と密接に係わっている。これらについて劇的な変化は望めないため、PR、省エネ・低炭素排出型機器の普及促進、家庭での「見える化」の情報収集を行う。また、エコ事業所についての調査研究を継続する。

柱	4 共通基盤
分野	L 環境学習・人づくり
ビジョン	学・思・行 相まって、未来につなげる人づくり



成果指標の分析

前年度と比較して低下し、平成18年度の水準に近い数値となっている。個別に見ると、ほとんどの項目で前年度を上回っているにも係わらず全体数値は低下しており、参加する人は複数参加するが参加しない人は全く参加しない、という二極化が進んでいる可能性がある。

成果が向上する余地(可能性)は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

東海市エコスクールで様々な講座を提供していく。
また、エコスクールの運営にあたっては、今まで参加していない人が気軽に参加できるイベント、興味がある人には少人数でも深く学んでもらえる講座など、メリハリをつけた企画運営について検討していく。